

安全データシート

(1) 製品及び会社情報

製品名 : プロ用ゴキブリ駆除剤 (販売名:コックローチSE)
 会社名 : 大日本除虫菊株式会社
 住所 : 大阪府大阪市西区土佐堀1丁目4番11号
 担当部門 : 第二営業部
 電話番号 : 06-6441-1105
 整理番号 : 1103

(2) 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	: 分類対象外
	可燃性/引火性ガス	: 分類対象外
	可燃性/引火性エアゾール	: 区分1
	支燃性/酸化性ガス	: 分類対象外
	高压ガス	: 分類対象外
	引火性液体	: 分類対象外
	可燃性固体	: 分類対象外
	自己反応性化学品	: 分類対象外
	自然発火性液体	: 分類対象外
	自然発火性固体	: 分類対象外
	自己発熱性化学品	: 分類対象外
	水反応可燃性化学品	: 分類対象外
	酸化性液体	: 分類対象外
	酸化性固体	: 分類対象外
	有機過酸化物	: 分類対象外
	金属腐食性物質	: 分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分外
	急性毒性(経皮)	: 区分外
	急性毒性(吸入:ガス)	: 分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	: 分類対象外
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分2
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分外
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 区分外
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 区分2
	生殖毒性	: 区分外
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	: 区分3
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	: 区分外
	吸引性呼吸器有害性	: 区分1
環境に対する有害性	水生環境-急性有害性	: 区分1
	水生環境-長期間有害性	: 分類できない
	オゾン層への有害性	: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : ・極めて可燃性/引火性の高いエアゾール
 ・皮膚刺激
 ・発がんのおそれの疑い

- ・呼吸器への刺激、眠気やめまいのおそれ
- ・飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・炎及び高温のものから遠ざけること。
- ・屋外又は換気のよい場所でのみ使用すること。
- ・ミスト/スプレーの吸入を避けること。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・火災の場合には適切な消火方法を取ること。
- ・こぼした場合、直ちに拭き取ること。
- ・皮膚についた場合、直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断/手当てを受けること。汚染した衣服を再使用する場合には洗濯すること。
- ・眼に入った場合、水で注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。
- ・取り扱った後、手を洗うこと。
- ・ばく露あるいはばく露の懸念がある、又は気分が悪い場合は医師の診断/手当てを受けること。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・飲み込んだ場合は口をすすぎ、無理に吐かせないこと。医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

- ・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。

【廃棄】

- ・内容物/容器は規則に従って適切に廃棄すること。

(3) 組成、成分情報

- ・単一化学物質・混合物の区 : **混合物**
- 有効成分 : ピレスロイド(イミプロトリン 0.417w/v%、フェントリン 0.417w/v% [原液100mLあたり])
- その他の成分: ミリスチン酸イソプロピル、ケロシン(灯油)、LPG、DME
- ・成分 : イミプロトリン
- ・化学名又は一般名 : [2,5-ジオキソ-3-(2-プロピニル)-1-イミダゾリジニル]メチル(±)-シス・トランス・クリサンテマート
- ・CAS番号 : 72963-72-5 (ラセミ体)
- ・官報公示整理番号 : 適用外(化審法)、8-(2)-1598(安衛法)
- ・化学特性 : $C_{17}H_{22}N_2O_4$
- ・成分 : フェントリン
- ・化学名又は一般名 : 3-フェノキシベンジル *d*-シス,トランス・クリサンテマート
- ・CAS番号 : 26002-80-2 (ラセミ体)
- ・官報公示整理番号 : (3)-4219(化審法)、4-(7)-998(安衛法)
- ・化学特性 : $C_{23}H_{26}O_3$
- ・成分 : ミリスチン酸イソプロピル
- ・化学名又は一般名 : ミリスチン酸イソプロピル
- ・CAS番号 : 110-27-0
- ・官報公示整理番号 : 2-0798(化審法)
- ・化学特性 : $C_{17}H_{34}O_2$

・成分	: ケロシン(灯油)
・化学名又は一般名	: 石油系炭化水素
・CAS番号	: 8008-20-6、64741-77-1、64742-81-0
・官報公示整理番号	: (9)-1702(化審法)、12-140(安衛法)
・化学特性	: 特定できない

(4) 応急措置

- 吸入した場合
 - ・被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - ・気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合
 - ・汚染された衣服をすぐに脱がせ、付着した部分を水と石鹼で洗うこと。
 - ・刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断/手当てを受けること。
 - ・汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 目に入った場合
 - ・十分な水で洗うこと。
 - ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - ・眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合
 - ・無理に吐かせないこと。
 - ・口をすすぐこと。
 - ・医師の診断/手当てを受けること。

(5) 火災時の措置

- | | |
|------------|---|
| ・適切な消火剤 | : 小火災: 二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂、散水
大火災: 散水、噴霧水、泡消火剤 |
| ・特定の危険有害性 | : 加熱により容器が爆発するおそれがある。
: 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、
消火作業の際には煙の吸入を避ける。 |
| ・特定の消火方法 | : 火元への燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。消火作業は
可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。消火の
ための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処
置をする。 |
| ・消火を行う者の保護 | : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。 |

(6) 漏出の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - ・屋内の場合、処理が終わるまで換気を十分に行う。
 - ・作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避けること。
 - ・付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- 環境に対する注意事項
 - ・漏出物を環境中に放出してはならない。
 - ・河川等、環境への影響が生じないように注意すること。
- 回収及び除去方法
 - ・土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させて回収する。あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

(7) 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 - : 人体に向かって噴射しないこと。また噴射気体を直接吸入しないこと。
- 保管
 - : 直射日光を避け、小児の手の届かない涼しい場所に保管する。
 - : 暖房器具の周辺は、温度が上がって破裂する危険があるので置かないこ
 - : 缶のさびを防ぐために、水回りや湿気の多い場所に置かない。

(8) ばく露防止及び保護措置

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 設備対策 | : 換気を行うこと。 |
| 保護具の使用 | : 状況に応じて保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。 |

(9) 物理的及び化学的性質

<エアゾール原液>

物理的状態、形状、色等	:	微黄白色の液体
臭い	:	特異なにおい
pH	:	データなし
融点・凝固点	:	データなし
沸点	:	データなし
引火点	:	107°C (引火性液体:区分外)
燃焼又は爆発範囲の上限及び	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
比重(密度)	:	0.764 (20°C)
溶解度	:	水に対して不溶
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし

(10) 安定性及び反応性

安定性	:	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
反応性	:	反応性なし
危険有害反応性の可能性	:	情報なし
危険有害性のある分解生成	:	燃焼の際は、煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

(11) 有害性情報

●急性毒性

<エアゾール原液>

経口 LD ₅₀ 値	:	>20.0mL/kg (ラット 雄雌) (区分外)
経皮 LD ₅₀ 値	:	> 5.0mL/kg (ラット 雄雌) (区分外)

(参考:ケロシン(灯油))

●皮膚腐食性・刺激性	:	・ヒトで皮膚への接触により刺激性が認められた。(区分2)
●眼に対する重篤な 損傷/眼刺激性	:	・眼を刺激しない。 ・ウサギを用いたDraize test (GLP試験)で刺激性が認められなかった。 (区分外)
●発がん性	:	・IARC 45(1989)ではJet fuel(kerosene, 8008-20-6)およびDistillate (light) fuel oilsがグループ3に分類されているが、ACGIH(2001)ではkerosene/Jet fuelsがA3に分類されている。(区分2)
●特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	:	・ヒト暴露例で中枢神経抑制やめまいなどが認められた。 ・マウスを用いた吸入暴露試験で気道刺激性が認められた。(区分3)
●吸引力呼吸器有害性	:	・ヒトで誤嚥により化学性肺炎をおこす。(区分1)

(12) 環境影響情報

生態毒性	:	水生生物に対して毒性あり ブラル(イミプロトリン 50%含) : (コイ) LC ₅₀ (48hr) 154µ g/L フェノトリン : (ニジマス) LC ₅₀ (96hr) 0.0027mg/L : (ミジンコ) EC ₅₀ (48hr) 0.0043mg/L
残留性/分解性	:	情報なし
生体蓄積性	:	情報なし
土壤中の移動性	:	情報なし
その他	:	植物に噴霧すると薬害を生じることがある。

(13) 廃棄上の注意

- ・捨てる時は、火気のない屋外で噴射音が消えるまでガスを抜く。
- ・火の中に入れない。
- ・空容器は関連法規並びに自治体の規則に従って廃棄すること。

(14) 輸送上の注意

国連分類 : クラス2.1 (引火性ガス)
 国連番号 : 1950 (エアゾール類)
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。温度の上昇を防止する。また、火気の付近に置かない。

(15) 適用法令

薬事法 : 防除用医薬部外品
 危険物船舶運送及び貯蔵規則 : クラス2.1 (引火性ガス)
 高圧ガス保安法 : 高圧ガス適用除外
 安衛法 : 通知対象物質 : ケロシン(灯油)
 表示対象物質 : ケロシン(灯油)
 危険物 : 引火性の物、可燃性のガス
 消防法 : [エアゾール原液] 危険物第4類第3石油類、危険等級III

(16) その他の情報

改訂履歴: 作成日 2000年 4月28日
 改訂日 2006年 5月25日
 改訂日 2009年 9月25日
 改訂日 2012年10月11日
 改訂日 2015年 5月20日

緊急連絡先:

財団法人 日本中毒情報センター
 散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。
 処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-249	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-999	029-851-9999

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものではありません。定められた用法・用量及び使用上の注意事項に従ってご使用下さい。